

鷺宮地区

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから見ると近所の大人が“知らない大人”になってしまっている現状があるため、大人だけでなく、子ども向けのサロンを作り、地域の子どもの距離を縮めていく工夫をしていく。 ・見守り等の活動は必要。不審者対策、声かけの方法等を検討する。 ・子どもは少ないが、お祭り等を開催すると、地域の人が意外と沢山参加してくれるので、住民との交流の場は必要ではないか。新しい住民の顔が分からないので、このような場は重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子どもや高齢者の見守りをしていく。 ・サロン等が出来ると、地域が活性化するので、地域の人が活用できるようにしていく。
2 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で歩き、健康を保つ。 ・“まだ若い”という気持ちを持つ。 ・高齢者の一人暮らしの人に声をかける。 ・仲間づくりのため、グラウンドゴルフをする。 ・日本語が話せない子どもの通学時の見守り。 ・ボランティア活動（ゆうゆうプラザ、読み聞かせなど）。 ・新たな入居予定者へ、区長の連絡先を伝える。 ・新しい世帯は新年会へ「招待」する。 <hr/> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の会議には子どもも連れてきて良いと伝える。 ・子ども会行事には近隣の地区の子どもの参加も良いとする。 ・他の地区の情報も知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区長はトップセールスマンの気持ちで、「地域のことは楽しくやる!」、「地域の文化を伝えていく」と良いのではないか。 ・すでに多くの取り組みがなされており、継続して実施する。

3 グ ル ー プ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否を兼ねて月1回一斉清掃をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施してきた安否確認を兼ねた一斉清掃を引き続き実施する。今後は中学生・高校生が参加できるよう工夫しながら、地区の様々な活動への参加を促す。世代を超えて交流することで、地域活動を活性化させることも必要である。これらに優先的に取り組み、地域とのつながりや関係づくりを進めていく。
	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型のイベントを開催する。子どもを巻き込んで事業を実施すると親達も来るため、地域活動に取り込み一緒に活動していく。 ・次世代を担っていく子ども達（中学生・高校生）を地区の事業に取り込んでいく。 ・地域活動の仕組みづくりの一環として、定年退職した方に朝・夕の見守り活動をしてもらう。 ・中学生に防災の意識を持ってもらう。 ・地区や地域で役員を経験して、初めて地域のことを考えることができるため、やってもらう。 ・アパートに住む方（子育て世代等）へ福祉・育児等の案内をして関係・つながりをつくる ・中学生・高校生に対して自分が経験したこと（自慢話などもOK）を話して世代間交流を図る。 	

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う分野のボランティアに参加し、自分自身の視野を広げ、人とのつながりを作る。やりがいを実感し人に伝え、感化させる。楽しくボランティア活動をする。 ・つなぐ、人に伝えるには PR が必要。高齢者は必要な情報を見ていない人が多い。サービスごとにチラシを作る。 ・見る人が興味を持てる PR の方法。 ・困りごとを吸い上げる方法を考える。困ったら、社協や福祉課へつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位の一つは「自ら行動すること」。自らが新しいボランティアなどを体験し、自分自身の視野を広げ、人に伝えることによって地域の活性化を図る。「人に伝えるにはまず自分から動く」ということが重要。
2 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憩いの家はみんなの居場所。来てもらえるよう声かけをすることにより、来る方が増え、仲間づくりができる。そのためには、誰もが来やすい雰囲気づくり、明るく呼びかけをする。 ・ボランティア（学校ボランティア・パトロールボランティアなど）を増やすために、若い方や学校の保護者の方への呼びかけを根気良くしていく。 ・心配な人・困ったことがあったら社協・行政へつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、声かけ運動を活発にしていけることが大切である。また、自ら動くことにより他の人を巻き込んでいくことが重要である。
3 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家から出ない人が出られるように、これまでよりも、区長・民生委員・福祉委員がお互い協力していく。 ・上内地区内の区長・民生委員・福祉委員が協力していくためには、普段から顔を会わせる機会を増やし、一緒に活動しお互いの顔を覚えてられるようになる。 ・憩いの家などで世間話などをすることで、交流の場ができ、お互いに思いやりの気持ちが育まれる。 ・サロン活動とつなげて見守り活動をしていく。サロンに参加しなかった人には話を直接聞きに行く。 ・サロンを楽しく、参加したくなるよう環境づくりをしていく。そのためにはボランティアの方に協力してもらい盛り上げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が協力して見守り活動をしていける体制を整えていきたいが、一人ひとりの負担が大きくならないよう配慮する。また、区長・民生委員・福祉委員が協力して地域福祉活動をしていく。

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフを続けるのは良い。体も頭も使い、人と話し、笑うことができる。 ・介護予防としてはつらつ体操をしているが、もっと広めたい。 ・区長と民生委員の情報交換をする。 ・災害時の支援マップをわかりやすくする。 ・認知症サポーター養成講座を受けて、認知症の人に声をかけるようにする。 ・空き家や森などを、自然教室や畑として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防のためにも運動できる場所（例えば、気軽に使える集会所）の確保は必要。
2 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の地区が一緒になって、集会所を利用したり、活動をする。 ・空き家が多いので、集会所を作らずに空き家等を有効に利用する。 ・空き家のマップを作ってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の足（巡回バス等）の問題の解決や空き家対策を地域や行政でやっていけるようにしたい。
3 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーが地域にいとまとまりができて地域活動も活発になると思うので、リーダー的存在を見つけていく。 ・広報の仕方として文字を大きくしお年寄りに見やすくするなど工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを今後も続けていくために、結果を周知し次につなげていく。

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協のふれあい・いきいきサロンだけでなく、仲良しグループでのお茶飲み会もある。地域性があるため、「できる地域からできる方法で」実施すれば良い。 ・民生委員の活動の範囲が広がっているので、地域の助けが必要。家から出ない人も訪問を待っている。 ・既に活動している自分たちだけでなく、老人会、学校などいろいろなところがつながっていく。自分ではできることは何でもやるし、地域の人に協力もお願いしていく。 ・地域で健康づくりをして、地域を元気にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることは何でもやるが、自分たちだけが頑張ってもダメ、地域のいろいろなところがつながっていないといけない。 ・地域性があるため、すべてを同じように進めるわけにはいかない、地域ごとにやり方がある、地域の自主性を重んじることも必要。
2 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員は地域の一人ひとりを知っているが、その人たちがお互いに知り合えるように、サロンを立ち上げた。 ・地域の中で、グラウンドゴルフを立ち上げた。 ・子どもの行事（ふれあいまつり、サマースクール、クリスマスなど）を行っている。 <hr/> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。嫌がられてもあきらめずに。 ・何回も顔を合わせ、信頼を得る。そうすると、ゴミ出しくらい、手伝えるようになる。 ・集会所はオープンにして、広く使えるようにする。その中で、自分の得意分野を活かし（編み物、書道など）、人に教えると、さらに人が集まるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。あきらめずに続けることが大切。

現在地域で取り組んでいる活動

- ・民生委員として地区の総会に参加し情報発信をしている。
- ・老人会で振り込め詐欺・当て逃げ・熱中症の注意喚起等の情報発信をしている。
- ・認知症は恥ずかしいことではないと近所の人に伝える。

今後地域で取り組めること

- ・老人会の加入にあたっては、60歳代で加入し、年長者を助けていく等話していく。
- ・老人会の旅行には認知症の夫婦も誘い、認知症の夫と参加者が一緒に風呂に入っている間、奥さんにくつろいでもらう。
- ・民生委員は、地域に孤立している人がいる場合は、地域に助け合える人（班長など）を見つけて協力してもらおう。

・参加者が、お互いに実践していること等を話し合った。民生委員の活動を聞くことができ、有意義な交流の場が持てた。

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントをするときは、新しい住民が参加しやすいもの、簡単なものが良い。 ・目新しい行事には若い人が参加しやすい。 ・子どもが集まるイベントを企画するとよい。 ・イベントの時は参加費を取ったほうが良い（中途半端な額じゃないほうが良い）。 ・地域でそば打ちなどをすると、高齢者が出てくることが多い。 ・活躍できる場をつくり、各自が存在感を発揮するとよい。 ・老人会を再結成する（ネーミングは再検討）。このことにより、多くの情報が集まる。 ・トップの役員はある程度で交代して、活性化を図り、若い人を育てる組織にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バーベキュー大会を実施したところ今までの住民も、新しい住民も参加し、150人くらい集まった。あまり難しく考えないで、自分がやりたいと思った事業をやったら、多くの人が集まった。こんな風にやっていけばよいのではないか。
2 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年寄りだけでも住みやすい地域にする。 ・イベント等を開催する。意外と若い世帯も参加してくれる。準備から参加してくれるとよい。 ・仕事を辞めてから地域に出るのではなく、もっと早くから地域とのつながりが持てるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを大事にし、若い世代との交流が図れるようにする。

<p>3 グ ル ー プ</p>	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新旧住民のコミュニケーションを図るため地域の祭り等で、親子で参加できるイベントを開催し参加しやすくしている。 <hr/> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達にあいさつすることを続けていくことで子ども達も変わっていく。 ・若い世代を取り込む機会を増やす。 ・若い人の意見を聞く（回覧板で募るなど）。 ・小学校単位のコミ協を活用していく。 ・高齢者が参加できるイベントを今後話していく。 ・人それぞれ価値観が違うので相手の立場を考えて行動していく。 ・PTAとコミ協が協力する。また、民生委員、福祉委員と連携する。 ・防災訓練や地区の祭りなど、積極的に声かけをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへのあいさつや若い世代や新旧住民と交流する機会を増やす等地域住民のつながりを考え、コミュニティづくりを実践している。をつくり地域住民の繋がりを考えて実践している。 <p>今後も積極的に地域住民に声かけ、情報提供を行い、自治会・民生委員・福祉委員・学校が連携協力してコミュニティづくりを進めることで地域での見守り活動等ができるのではないかと考えている。</p>
<p>4 グ ル ー プ</p>	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしが増えるので、自分で身の回りの整理をする。また、健康管理も各々していく。 ・民生委員と自治会が協力し、地域で連携を図る。集会所を開放することで、集まる場づくりができる（居場所づくり）。 ・自治会加入のメリットを作り、若い方が参加しやすいようなイベントを考えていく。 ・行政・社協等いろいろな力を借りたり、PRの仕方を工夫して、地域行事への参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会では、若い世代へ加入の声かけや行事への参加を呼びかけている。地道に声かけをしていくことにより、参加してくれる方が増えていくのではないかと。